

予選通過

■ サロン・ド／カラー

▶ 第二次予選通過作品

地蔵堂 木立将隆 (青森)

▶ 第一次予選通過作品

寿ぎ 貝沼正雄 (北海道)

ライトターン 佐藤軍征 (宮城)

雪景色 藤島純七 (宮城)

しゃぼん玉 佐藤浩之 (福島)

出店 高田良昇 (茨城)

春を呼ぶヨシ焼 山崎 泰 (栃木)

台風余波 金井光寿 (群馬)

潮騒

海と共に／爺ちゃん～ 小久保新一 (群馬)

海原に降参／追いかけて／女神降臨

青木幸子 (埼玉)

雪に抱かれて／白銀を竹く／春の訪れ

小川実慧 (千葉)

女 加藤清市 (千葉)

岩場より富士を仰ぐ 木下隆司 (千葉)

霧の朝 中西克之 (千葉)

シャボン玉 松尾利雄 (千葉)

学び舎の秋／カミノツカイ／なかよし

遠井信行 (東京)

連帯のフラッグ 渡邊 暁 (東京)

小雨模様の飲み屋街 浅野明朗 (神奈川)

夏休み／最後のお客／夏祭りの日／

祭りが来る頃 萩原由紀夫 (神奈川)

庇 滝澤悌二 (長野)

お疲れさま 阪口誠紀 (静岡)

まずいよ…？／じへと見とれて／帰郷／

灰除け／人気者／夏祭り／勤行／

時代を超えて／のぞき見／厚化粧／

準備万端 加藤正樹 (愛知)

祭りの朝／紙花 藤下光政 (愛知)

視線／パフォーマンス 松尾秀夫 (愛知)

逃げる人／スマイル 小宮千原 (三重)

イーヤーサーサー 齋藤圭子 (三重)

乱れ雲 霞田廣治 (滋賀)

古くからの田遊び 阿茂瀬邦男 (大阪)

解体工事 井上良郎 (大阪)

もうひとりの自分 上原弘士 (大阪)

島唄 風に乗って／漁村の祭 土岐令子 (大阪)

おんな一人旅 馬場景子 (大阪)

暮れゆく雑賀崎魚港 法橋慶子 (大阪)

滝の上を走る 本田健二 (大阪)

大暴れ／見せ場 山中祥三朗 (大阪)

入れ替え 山本一朗 (大阪)

令和7年末、広がり／あれ？ 梅津郁朗 (兵庫)

綺麗に撮ってね！ 太田英雄 (兵庫)

復興への道 小倉武五郎 (兵庫)

はしご乗り演技／初えびす祭の日

金山多一 (兵庫)

とても仲良し／空き屋の窓／

伝統行列行事記念／おはようございます

瓦谷 勲 (兵庫)

空中戦／ペイント遊び

雪ムスメ

古都の節分祭

出現

光の街

雛供養

めぐる春

夏の宵

鳥羽の火祭り

異空間

何を探してる？

102才の今日

晩秋

ほんとひと時／高ぶる気持ち

帰り道

暮れる頃／蔦屋敷

明ける頃

最果ての町へ

のうはんき

わが町の愛しき人々

ハレの日を見送って／漁港寸景／

メンテナンス／パトロール／山里に笑む

皆川春奈 (愛媛)

ほのぼの 大坪享介 (高知)

メジロを求めて／朝の光の中で

西森さち (高知)

出港の日 松木宣博 (高知)

■ サロン・ド／モノクロ

▶ 第二次予選通過作品

明日を読む 阪口誠紀 (静岡)

別れの夜 馬場景子 (大阪)

襖 室田あい (兵庫)

▶ 第一次予選通過作品

安らぎの時 神能俊行 (北海道)

田んぼ少年 坪井嘉平 (福島)

昭和は残る／水溜りの怪獣 谷島文夫 (茨城)

下町グランド 野澤正樹 (埼玉)

窓辺の光景 高橋定昭 (東京)

鳶の絡まる小学校 浅野明朗 (神奈川)

国際交流／幸せ道春木道 須藤常夫 (神奈川)

雪彼岸／雪深く 外石富男 (新潟)

湖辺 伊藤邦美 (長野)

ご苦労様です／偲ぶ／解禁日／妻の思い出／

かき氷屋さん／祭りの日／大輪が咲いて

加藤正樹 (愛知)

ムク島乱舞／待ち惚け 松尾秀夫 (愛知)

堤防／静 加藤和弘 (三重)

進化の証 齋藤圭子 (三重)

買い物の一時 岩切光生 (大阪)

狙われている！ 中西 豊 (大阪)

ご利益ありますように 馬場景子 (大阪)

駆ける少女 齊脇勇治 (大阪)

流浪 藤崎紘久 (大阪)

子供が少なくなった伝統祭り 太田英雄 (兵庫)

児玉洋之 (兵庫)

杉江輝美 (兵庫)

永田裕行 (兵庫)

室田あい (兵庫)

山川照美 (兵庫)

山崎秀司 (兵庫)

山本待子 (兵庫)

北 好雄 (奈良)

高田八寿子 (奈良)

藤島通行 (奈良)

森村弘文 (奈良)

吉永朋子 (奈良)

藤吉修忠 (和歌山)

石原一夫 (岡山)

小川雅之 (岡山)

求磨川貞喜 (岡山)

井藤光章 (徳島)

住吉 聡 (徳島)

小野 哲 (香川)

田中万三 (愛媛)

ハレの日を見送って／漁港寸景／

メンテナンス／パトロール／山里に笑む

皆川春奈 (愛媛)

ほのぼの 大坪享介 (高知)

メジロを求めて／朝の光の中で

西森さち (高知)

出港の日 松木宣博 (高知)

牛舎跡地寸景

こたつ文化

チンドン流し

旋回／月下の疾走

見せ場／都市空間

警護員

それぞれの祭

姫／探険

城

ほほ笑み返し

夕涼み

楽屋

巫女さん

土居迪子 (兵庫)

山川照美 (兵庫)

山崎秀司 (兵庫)

竹田洋祐 (奈良)

吉川秀徳 (奈良)

藤吉修忠 (和歌山)

山根修一 (鳥取)

石原一夫 (岡山)

求磨川貞喜 (岡山)

団 芳男 (徳島)

田中万三 (愛媛)

皆川春奈 (愛媛)

百崎礼治 (福岡)

■ ネイチャー・フォトサロン

▶ 第二次予選通過作品

霧氷樹 佐藤泰三 (愛知)

キジ四態 児島新祐 (福岡)

▶ 第一次予選通過作品

メルヘンの世界 河野仁志 (北海道)

眼闘／ちよいと頂き／捕獲 田畑寿彦 (北海道)

公園に生きる 西野徳義 (北海道)

根室海峡 林 繁造 (北海道)

旭光を浴びて 佐藤軍征 (宮城)

獲物を待つ 石川勝久 (群馬)

雪山に行く 島田喜久夫 (群馬)

スピリチュアル／春の揺蕩う 巻島芳明 (群馬)

雨水の美／静寂／素敵なレストラン／

長い髪の乙女 青木幸子 (埼玉)

朝もやに佇む／花紅柳緑／光輝燦爛／

曙光瞬く／雪原の光華 川井典彦 (千葉)

梅インコ ZAFAR IQBAL (千葉)

虹色愛歌 蜂谷雅人 (東京)

穏やかに 野村晴夫 (神奈川)

楽園の住人 内藤壽恭 (福井)

春の水辺／夕暮れ 川口善也 (岐阜)

夜の海 佐藤泰三 (愛知)

カメノテ 藤下光政 (愛知)

旅の途中 村松章一 (愛知)

可憐／凍てる 鈴木 満 (三重)

コガンピの牡鹿 竹田洋祐 (奈良)

神々しい朝 重田幾男 (広島)

ミーティング 安井治夫 (香川)

土佐の桃源郷 西森さち (高知)

迷いなく、自分の表現を追求する

総評

カラーの部

ハナブサ・リュウ

サロン・ド・ニッコールの新年度が始まりました。今回はそれぞれの皆さんが、多種多彩な表現で作品をつくっていることに驚きました。単写真も組写真も、その表現の方法はみな違いますが、迷いなく、自信を持って、安定した力を発揮して作品を仕上げている印象です。自分のテーマをしっかりと持ち、デジタルカメラをきちんと使いこなし、プリント技術をマスターしていて頼もしい限りです。この調子で1年間頑張ってください。次回も楽しみにしています。

モノクロームの部

上田晃司

カラーではなかなか表現できない、モノクロの得意とする光と影の表現、被写体の形を意識した作品が多く、非常に見応えがありました。特にモノクロ写真だからこそ伝わる迫力の世界、繊細な空気感、光の微妙なニュアンスが見事に表現されている作品が多い印象です。色の情報がない世界でどのように表現するのか考え抜き、露出や構図を決め、プリントされた作品が入賞したと感じました。

部門	サロン・ド・ニッコール		得点						賞位数					
順位	氏名	都道府県	244 回		245 回		246 回		合計	1 席	2 席	3 席	佳作	
			C	M	C	M	C	M						
1	伊藤邦美	長野	5						5	1				
	外石富男	新潟		5					5	1				
3	求磨川貞喜	岡山	3	1					4		1		1	
4	日野昭雄	北海道		3					3		1			
	加藤正樹	愛知	3						3		1			
	松尾秀夫	愛知		3					3		1			
	馬場景子	大阪	3						3		1			
	東 輝	大阪		3					3		1			
	室田あい	兵庫	3						3		1			
	永澤悦徳	高知	3						3		1			
	河野仁志	北海道	2						2			1		
11	神能俊行	北海道		2					2			1		
	藤下光政	愛知	2						2			1		
	加藤和弘	三重		2					2			1		
	井崎正治	滋賀	2						2			1		
	高橋宗尊	京都	2						2			1		
	田中利樹	京都	2						2			1		
	宮本節夫	奈良	2						2			1		
	吉永朋子	奈良	2						2			1		
	藤吉修忠	和歌山	2						2			1		
	池上栄一	大阪		2					2			1		
	井上良郎	大阪	2						2			1		
	木本喜朗	大阪		2					2			1		
	山川照美	兵庫		2					2			1		
	小野 哲	香川	2						2			1		
	26	大村マサル	大阪	1	1					2				2
		田中万三	愛媛	1	1					2				2
		皆川春奈	愛媛	1	1					2				2
【以下 29 位（佳作 1 回、合計 1 点）】 見野則幸（北海道）、佐藤教正（北海道）、池上和夫（福島）、酒井なみ（福島）、 坪井嘉平（福島）、関矢俊夫（群馬）、青木幸子（埼玉）、野澤正樹（埼玉）、遠井信行（東京）、 高橋正勝（神奈川）、小宮千原（三重）、岡村和彦（奈良）、亀田留男（奈良）、 下村いさお（奈良）、竹田洋祐（奈良）、山中健次（和歌山）、木村 薫（大阪）、クワバラハク（大阪）、 齋藤正明（大阪）、永廻賢二（大阪）、金山多一（兵庫）、児玉洋之（兵庫）、杉江輝美（兵庫）、 山根修一（鳥取）、小川雅之（岡山）、住吉 聡（徳島）、樋口良夫（愛媛）、西森さち（高知）														

年度賞について

- 毎年度の各会報フォトコンテストの入賞を下記の点数で得点換算し、得点獲得上位者を表彰いたします。なお、各フォトコンテストで年度賞1位を受賞された方は、翌年度は受賞した部門へのご応募はご辞退いただきますが、1年後より再び応募可能となります。ただし、ステップアップ・フォトサロンの年度賞1位を受賞された場合は、翌年度からステップアップ・フォトサロン部門への応募はご辞退いただきます。
- 年度賞の得点が同点の場合、入賞賞位が高い入賞者が優先されます。

部門	得点配分	表彰
 サロン・ド・ニッコール	1席 5点 / 2席 3点 / 3席 2点 / 佳作 1点 *モノクロームの部、カラーの部とも	1位 盾・賞金10万円 / 2位 賞金5万円 / 3位 賞金3万円 *モノクロームの部、カラーの部の総合得点で決定
 ネイチャー・フォトサロン	1席 5点 / 2席 3点 / 3席 2点 / 佳作 1点	1位 盾・賞金5万円 / 2位 賞金3万円 / 3位 賞金1万円
 ステップアップ・フォトサロン	特選 3点 / 入選 2点 / 佳作 1点	1位 盾・ニコンオリジナルグッズ / 2位・3位 オリジナルグッズ

ネイチャー・フォトサロン

「自然」をどのように描写するか？

部門	ネイチャー・フォトサロン		得点				賞位数			
順位	氏名	都道府県	92回	93回	94回	合計	1席	2席	3席	佳作
1	蜂谷雅人	東京	5			5	1			
2	日野昭雄	北海道	3			3		1		
	藤島純七	宮城	3			3		1		
	加藤和弘	三重	3			3		1		
5	青木幸子	埼玉	2			2			1	
	川井典彦	千葉	2			2			1	
	藤下光政	愛知	2			2			1	
	森村弘文	奈良	2			2			1	
	安井治夫	香川	2			2			1	
10	佐々木 裕	北海道	1			1				1
	田畑寿彦	北海道	1			1				1
	林 繁造	北海道	1			1				1
	酒井なみ	福島	1			1				1
	高田良昇	茨城	1			1				1
	巻島芳明	群馬	1			1				1
	杉村俊彦	東京	1			1				1
	遠井信行	東京	1			1				1
	村松章一	愛知	1			1				1
	竹田洋祐	奈良	1			1				1
	動道千歳	大阪	1			1				1
	増野朱躬	広島	1			1				1
	皆川春奈	愛媛	1			1				1
	仲田欣也	愛媛	1			1				1
	西森さち	高知	1			1				1

総評

大西みつぐ

今回も「クリエイティビティ」の高い作品がいくつか入賞しています。自然美というものをどのように写真表現において描写、表現していくかという永遠の課題もありますが、昨今の画像ソフトの「技」に頼りたくなるのではないのでしょうか。半端なく「盛れる」ということを、先日私もしっかり確かめることができました。これが自分の写した写真なのか!と驚嘆します。しかしながら「自然」は一体どこにあるのかという課題は常に突きつけられているわけで、「外界に」という人もいれば「自己の内に」という人もいます。



ステップアップ・フォトサロン

作品の魅力を高める工夫を大切に

部門	ステップアップ・フォトサロン		得点				賞位数		
順位	氏名	都道府県	68回	69回	70回	合計	特選	入選	佳作
1	ランド	栃木	3			3	1		
	城島里見	静岡	3			3	1		
	山元時子	石川	3			3	1		
4	伊藤慎二	北海道	2			2		1	
	小笠原千波	東京	2			2		1	
	ZHI BO	神奈川	2			2		1	
	高山 寛	長野	2			2		1	
	木村良子	滋賀	2			2		1	
9	近野明裕	福島	1			1			1
	永山弘恵	福島	1			1			1
	海老原由紀	茨城	1			1			1
	大橋隆夫	茨城	1			1			1
	小舟敏美	埼玉	1			1			1
	関 和男	東京	1			1			1
	福岡清隆	富山	1			1			1
	高島 豊	石川	1			1			1
	吉原浩子	岡山	1			1			1
	生田正幸	広島	1			1			1

総評

秋山華子

撮影者の心がときめいたシーンを丁寧に切り取った作品が多く見受けられました。その上で、表現したい主題をより明確にし、いかにそれを際立たせるかを意識することが、さらに作品の魅力を高める鍵になります。構図内の要素の整理やピント位置の工夫、撮影の角度や距離の見直しによって、完成度が一段と高まる可能性を感じさせる作品も少なくありませんでした。それぞれの個性を大切にしながら、“見る・感じる・伝える”力を、一枚一枚の中で磨いていかれることを心から期待しています。